

科目名	子どもの食と栄養						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	2	2	前期			
担当者名	中村 敦子	関連する資格	保育士資格 必修				
授業概要							
<p>子どもの保育において栄養や食事の問題は、発育・発達や健康に直接影響するため、十分な配慮が必要である。しかし、小児期の食生活は保育者に依存しているため、保育者が望ましい食事観や健康観がもてるように学ぶ。</p>							
到達目標						成績評価方法	
<p>保育者として保育の関連の中で、子どもに適切な食事が提供できるように、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養学、調理学、食品学に関する基礎知識を正しく理解する。 2. 食生活が心の健康にも影響をあたえることを理解する。 <p>以上の観点から、理論と実践が身につくように学ぶ。</p>						<p>定期試験 レポート提出</p>	
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○		○			80
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○	○				10
授業態度・授業参加度			○	○	○		5
プレゼンテーション				○			5
グループワーク	○		○	○	○		
演習	○	○	○	○	○		
実習							
授業計画と概要					アクティブラーニング		
1) 子どもの健康な生活と食生活の意義について							
2) 栄養に関する基本的知識について							
3) 子どもの発育と発達の食生活について							
4) 妊娠・授乳期の食生活について							
5) 乳児期の食生活について							

6) 幼児期の食生活について	
7) 離乳食の実践	グループワーク (演習)
8) 幼児食の実践	グループワーク (演習)
9) 幼児食の実践	グループワーク (演習)
10) 間食の必要性と意義 間食の実践	グループワーク (演習)
11) 学童期・思春期の食生活について	
12) 食育の基本媒体作り	グループワーク (演習)
13) 食育の基本媒体作り	グループワーク (演習)
14) 子どもの疾病と食生活について	
15) 障がいのある子どもの食生活について	
授業外学習	
授業中に提示する課題を滞りなく実施してくること。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
「子どもの食と栄養」堤ちはる・土井正子編著 (萌文書林) 必要に応じて資料を配布し、記録は資料の中に書き込み整理する。	子どもの保健Ⅰ、 子どもの保健Ⅱ、 乳児保育
備考	
私語は慎むこと。 実習時は、身支度をすること。	